



# 学校は、今...

SCHOOL REPORT 14

## 福祉教育の取り組み

子どもたちは学校生活の中で、お年寄りや体の不自由な方の疑似体験をしたり、話を聞いたりしています。今回は、思いやりの心を育てる福祉教育の取り組みについてご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679



### 全校参加の福祉実践教室(六連小学校)

六連小学校では、「ともに生きる明るい社会」をみんなの手で作り出すことを目的に、毎年「福祉実践教室」を行っています。1・2年生は、「崖の上のポニョ」を歌いながら手話をし、福寿園でお年寄りに披露しました。3・4年生は、アイマスクをつけて盲導犬体験をし、盲導犬が目の見えない人にとってどんな役割をしているのかについて学びました。5・6年生は、点字体験をしました。目の見えない人たちの読書の幅が広がるようにと点字の仕事をしている方のお話を聞いて、自分たちにできることは何かを考えた子もいました。



▶夢中になって手話をする児童

●感想 手話は初めてだったけれど、覚えることができうれしかったです。覚えた手話をお父さんやお母さんにも教えてあげたいです。(1年生)



▶コマのまわし方を教えてもらう児童

●感想 「昔の遊びであんなにはしゃいでくれて、うれしかったです」「これからも『ひだまり組』を続けてほしいです」(老人会の方)

### お年寄りとの交流『ひだまり組』(堀切小学校)

堀切小学校では、お年寄りとの交流を目的に、平成15年度から『ひだまり組』の活動を続けています。6月には1年生が老人会の方からコマ回しの手ほどきを受け、7月には2年生が老人会の方と一緒に水鉄砲を作って遊びました。どの活動も、子どもたちが楽しめたことはもちろん、参加したお年寄りの皆さんにも好評でした。2学期には、3～6年生が「竹鉄砲作り」「餅つき」などを行う予定です。

子どもたちは、老人会の方々とふれ合うことができる『ひだまり組』の時間を楽しみにしているようです。



### 社会貢献の気持ちを育む学習(野田中学校)

野田中学校では、障害のある方たちに寄り添えるようになってほしいと願い、昨年度から福祉体験を取り入れた学習を行っています。特に大切にしていることは、体験を通して学ぶということです。昨年度は、田原福祉専門学校と田原市社会福祉協議会に協力をお願いし、手話体験と点字体験を行いました。

生徒たちは、障害のある方の日常生活での苦勞を感じ、その方々の気持ちを考えることができました。中には、自分も何かしたいという思いを持った生徒もいました。



▶講師の話をお聴く生徒

●感想 目の不自由な方は、臭いや歩く音で人が部屋に入ってくるのが、分かるそうです。鼻や耳が敏感になっていると知り驚きました。(1年生 H20)